

2022 年 IEEE Sapporo Section 総会
2022 IEEE Sapporo Section Annual Meeting
2022 年 IEEE Sapporo Section 第 1 回理事会
2022 IEEE Sapporo Section 1st Executive Committee Meeting

1. 日時: 2022 年 3 月 3 日(Thu) 16:30～
2. 場所: Zoom によるリモート開催
3. 議題:
 - 1) [総会審議] 2021 年総会議事録 (第 1 回理事会と同時開催) 資料 01
 - 2) [理事会確認] 2021 年第 2 回理事会議事録 資料 02
 - 3) [理事会確認] メール審議事項確認 資料 03
 - 4) [理事会確認/総会確認] 理事会構成員 資料 04
 - 2021 – 2022 Executive Committee Members 資料 04
 - ✓ Affinity Group/ Student Branch/ Others
 - IEEE Sapporo Section Bylaws 資料 04-1
 - IEEE Sapporo Section Bylaws 概要 資料 04-2
 - 5) [理事会確認/総会報告] 2021 年事業報告 資料 05
 - Annual report 資料 05-1
 - 6) [理事会審議/総会報告] 2021 年決算報告 資料 06
 - 会計監査報告 資料 06-1, 2
 - 7) [理事会審議/総会報告] 2022 年事業計画 資料 07
 - 8) [理事会審議/総会報告] 2022 年予算案 資料 08
 - 9) [理事会審議] 学生員奨励事業について 資料 09
 - 10) [理事会報告] 2021 年 第 3 回 Japan Council 理事会報告 資料 10
 - Japan Council 理事会資料全体:
<https://drive.google.com/file/d/1HHCOmRpb28fck4dj2vfzExP2ATL4NBqG/view?usp=sharing>
 - Japan Council 理事会議事録(公開予定): <https://ieee-jp.org/activity/cgiji.html>
 - 11) [理事会審議]周年イベント 資料 11
 - IEEE JC 理事会資料 資料 11-1
 - 12) [総会報告] IEEE Sapporo Section Student Awards 資料 12
 - IEEE Sapporo Section The 2021 Best Paper Award Winners
 - IEEE Sapporo Section The 2021 Student Paper Contest Winners
 - 13) その他

2021 年 IEEE Sapporo Section 総会
 2021 IEEE Sapporo Section Annual Meeting
 2021 年 IEEE Sapporo Section 第 1 回理事会
 2021 IEEE Sapporo Section 1st Executive Committee Meeting

議事録（案）

1. 日時: 2021 年 2 月 15 日(Mon) 16:30～
2. 場所: WebEX によるリモート開催
3. 出席者 (22 名)

新理事会構成員(16 名): 長谷山美紀, 五十嵐一, 小川貴弘, 浅井 哲也, 元木邦俊,
 宮永 喜一, 齋藤 晋聖, 真田博文, 柏達也, 藤野 雄一, 荒木 健治, 李鶴, 大鐘 武雄,
 角 薫, 吉本直人, 八杉拓哉

会員 (6 名): 大宮 学, 董冕雄, 川幡知孝, 佐藤 孝憲, プタシンスキ, 西村 寿彦

4. 議題:

- ・冒頭, 進行は旧幹事の西村が行うこと, 資料の確認があった.
- ・理事が新体制となったため, 議題 4 から始めた.

- 4) [理事会確認/総会確認] 理事会構成員

- 2021 – 2022 Executive Committee Members

資料 04

- ✓ Affinity Group/ Student Branch/ Others

・西村より, 理事会構成について, 選出経緯を含めて説明があり, 長谷山 Chair, 五十嵐 Vice Chair, 小川 Secretary/Treasurer, 八杉 2021 Student Representative, 董 室工大 SB Counselor よりご挨拶いただいた. (李 YP Chair は終了時にご挨拶いただき, 角 WIE Chair はマイク不調のためご辞退された)

・藤野理事より, 資料の誤記について指摘があり修正することとなった. (誤記は, 10 ページのタイトルと角 WIE Chair のご所属)

・理事会: 確認, 承認された

・総会: 確認, 承認された.

- 1) [総会審議] 2020 年総会議事録 (第 1 回理事会と同時開催)

資料 01

・総会: 前回議事録が確認, 承認された.

- 2) [理事会確認] 2020 年第 2 回理事会議事録 資料 02
 ・理事会: 前回議事録が確認, 承認された.
- 3) [理事会確認] メール審議事項確認 資料 03
 ・理事会: メール審議事項が確認, 承認された.
- 5) [理事会審議/総会報告] 2020 年事業報告 資料 05
 ▶ Annual report 資料 05-1
 ・理事会: 事業報告および Annual report が確認, 承認された.
 ・総会: 事業報告が行われた.
- 6) [理事会審議/総会報告] 2020 年決算報告 資料 06
 ▶ 会計監査報告 資料 06-1,2
 ▶ CB 残高証明 資料 06-3
 ・西村より, CB が開設された旨説明があった.
 ・理事会: 決算報告が確認, 承認された.
 ・総会: 決算報告が行われた.
- 7) [理事会審議/総会報告] 2021 年事業計画 資料 07
 ・大鐘 Past Chair より, シニア昇格メダルと YP 表彰について補足説明があった.
 ・理事会: 事業計画が確認, 承認された.
 ・総会: 事業計画が行われた.
- 西村より, 議題 8 と 9 の順序を入れ替える旨説明があった.
- 9) [理事会審議] IEEE Metro Area Workshop 2021 in Sapporo 資料 09
 ・小川 Secretary より, 資料に基づいて説明があった.
 ・藤野理事より, LMAG の実施体制について質問があり, 小川 Secretary より, MAW の実行委員が中心となる旨説明があった.
 ・理事会: MAW 開催案について承認された.
- 8) [理事会審議/総会報告] 2021 年予算案 資料 08
 ・大鐘 Past Cahir より, セクション支援費は小規模支部では半額ではなく全額補助を申請可能であること, 学生活動に多く計上して単年度赤字の予算となっているが, セクション支援費等を活用して将来的に赤字を解消していただきたい旨, コメントがあった.
 ・西村より CB について説明があり, 大鐘 Past Chair より Activity Report (競争的資金のため毎年得られる保証はない) について補足があった.
 ・理事会: 予算案が確認, 承認された.

・総会: 予算案について説明された。

10) [理事会審議] 学生会作成ノベルティの取り扱い 資料 10

- ・川幡 2020 Student Representative から、資料について説明があった。
- ・藤野理事から、デザインについてご意見があり、川幡 2020 Student Representative から変更の際は追加費用が発生する旨回答があった。これに対し、大鐘 Past Chair より、LMAG イベントで使用するという事なら、MAW の費用で賄うことも可能とのコメントがあった。
- ・理事会: マグカップは積極的に使用していくことが承認された。

11) [理事会審議] 学生員奨励事業について 資料 11

- ・藤野理事より、オンサイトがオンラインに切り替わった場合の対応について質問があり、西村より、発表後に指導教員から報告いただいて金額を決定する旨回答があった。
 - ・藤野理事より、上記の場合、"Registration Fee の一部を補助する"という記述は正確でない旨指摘があり、西村より、検討してメール審議としたい旨回答があった。
- ※西村注: 後日確認したところ、議題 3 のメール審議事項 1 ですすでに検討済みで、"Registration Fee の一部を補助する"はすでに変更することで理事会の承認が得られていた。今回、西村が古い記述の修正が不十分であったことをお詫びいたします。
- ・理事会: その他の学生員奨励事業について承認された。

12) [理事会報告] 2020 年 第 3 回 Japan Council 理事会報告

- Japan Council 理事会議事録: <https://iee-jp.org/activity/cgiji.html>

・報告は省略された。

※西村注: 上記 URL を参照されたい。

13) [総会報告] IEEE Sapporo Section Student Awards 資料 12

- IEEE Sapporo Section The 2020 Best Paper Award Winners
- IEEE Sapporo Section The 2020 Student Paper Contest Winners

- ・総会: 受賞者について報告された。
- ・リモート開催のため表彰式は中止となった。

14) [総会その他] Ethics and Member Conduct Committee (倫理及び会員行動委員会) の活動紹介

- ・プタシンスキ EMCC Member より、活動紹介があった。
- ・大鐘 Past Chair より、IEEE の小さい単位でも活動があるかと質問があり、プタシンスキ Member から、全体の活動だが各リージョンのメンバーが加わっていると説明があった。

最後に、新任の李 YP Chair からご挨拶、理事の退職する川幡 2020 Student Representative, 西

村 Secretary/Treasurer, 大宮 理事からご挨拶があった。

議事録（案）

2021 年 IEEE Sapporo Section 第 2 回理事会
IEEE Sapporo Section 2021 2nd Executive Committee Meeting

1. 日時: 2021 年 12 月 1 日(水) 16:30-18:00
2. 場所: Zoom によるリモート開催
3. 出席者 (17 名): 長谷山美紀、五十嵐一、浅井哲也、元木邦俊、齋藤晋聖、柏達也、藤野雄一、筒井弘、伊藤精彦、鈴木幸司、荒木健治、大鐘武雄、吉本直人、角薫、李鶴、董冕雄、小川貴弘
4. 議題:
 - 1) [審議] 2021 年第 1 回理事会および総会議事録確認 資料 01
資料の通り確認された。
 - 2) [報告] 2021 年事業中間報告 資料 02
資料の通り報告があった。
 - 3) [報告] 2021 年予算執行状況中間報告 資料 03
資料の通り説明があった。また、Concentration Banking から NextGen Banking へ移行する旨報告があった。
 - 4) [報告] メール審議事項報告 資料 04
資料の通り説明があった。
 - 5) [報告] IEEE MAW 2021 in Sapporo 資料 05
資料の通り説明があった。また、IPC 委員会において今後の MAW のあり方について議論が行われている旨報告があった。
 - 6) [報告] IEEE 札幌支部 LMAG 設立イベント 資料 06
資料の通り説明があった。また、伊藤理事よりご挨拶があった。

- 7) [報告] シニア昇格記念メダルの贈呈について 資料 07
資料の通り説明があった。メダルの申請・支払い・報告の手順に関して変更があり、札幌支部については現状、金銭的な負担が無いことが報告された。
- 8) [報告] YP 表彰（最優秀論文賞・最優秀研究者賞） 資料 08
資料の通り説明があった。
- 9) [審議] Section Rebate (YP 分)について 資料 09
資料に従って説明が行われ、Section Rebate (YP 分)については、「Base Amount 分を YP 表彰 副賞の半額を補うために利用し、残りの半額を札幌支部から支出すること」・「Timeliness Bonus と Activity Bonus については、YP の活動費とすること」について承認された。
- 10) [審議] 2022 年予算案 資料 10
資料に従って説明が行われ、承認された。
- 11) [審議] IEEE 札幌支部 25 周年(2023 年)記念イベントについて 資料 11
資料に従って説明が行われ、札幌支部における本イベントの開催方針については、12 月 17 日の第 3 回 JC 理事会において報告予定の他の支部の方針を受けて、改めて 2022 年第 1 回理事会またはメール等で意見集約と審議を行うこととなった。
- 12) [報告] IEEE Region10 YP Ambassadors について 資料 12
資料の通り説明があった。
- 13) [審議] 2021 年 IEEE 札幌支部若手研究者年間優秀論文賞について 資料 13
資料に基づいて選考の経緯に関する説明があり、最終選考案および授与方法の案が示された。「Full Paper 4 件の論文を受賞対象とし、最も投票の多かった論文を最優秀論文、その他 3 件を奨励論文とすること」・「授与方法については、現状のコロナウィルス感染症の現状を鑑み、郵送とすること」について承認された。
- 14) その他
➤ History Committee 委員の藤野理事より、2022 年における IEEE Japan Council History Committee のミーティングが函館で開催予定の旨、報告があった。ま

た、マイルストーン候補の推薦に関する説明があった。また、前委員の柏理事より補足の説明があった。

- Educational Activity 委員の大鐘理事より、IEEE Engineer Spotlight についての説明があり、札幌支部におけるイベントの希望があれば、Educational Activity としての実施についても検討可能である旨、説明があった。

メール審議事項報告

1. 「2021 年 IEEE 札幌支部 Student Paper Contest」表彰候補者について

- IEEE 札幌支部が共催している電気・情報関係学会北海道支部連合大会において優秀な発表を行った学生を表彰
- 「本大会で選定された若手優秀論文発表賞の受賞者」と「電気学会で選定した受賞者」を除く学生を対象に、次の 2 種類の表彰候補者を提案
- Best Presentation Award (2 名)、Encouraging Prize (4 名)
- 選考基準
 - ① 座長・座長補佐の評価の総合点が高い順番に選定し、その中で点数が最も高い 2 名 (「36 点」) を「Best Presentation Award」として選定
 - ② 「Encouraging Prize」についてはまず、総合点が「35 点」・「34 点」の 3 名を選定。尚、3 名の場合、例年と比べて受賞者が少なくなるため、総合点が「33 点」の発表者から 1 名を追加で選定。
 ※ 電気学会では総合点「33 点」の発表者の中で座長・座長補佐の両者が賞の推薦を行っている発表者を受賞者としているため、IEEE 札幌支部でもこれに倣い、同様に選定。
- 結果: Approval (2022/1/14)

2. IEEE Sapporo Section Annual Report について

- 2021 年の IEEE 札幌支部の活動報告として、Annual Report の提出が例年同様に求められており、例年に倣って案を作成
- LMAG、WIE、YP、Student Branch に関する記載内容については、事前に Chair または Secretary に確認済
- 結果: Approval (2022/2/4)

3. 2022 年体制 (SB Chair) について

- IEEE 札幌支部の体制は 2021-2022 となっており、基本的に 2021 年から引き継ぐ形になるが、SB Chairs は 1 年交代
- 以下の 2 名を新たな候補者として提案
 Keita Mochizuki (2022 北大 SB Chair) ※ Student Representative
 Jiong Dong (2022 室工大 SB Chair)
- 結果: Approval (2022/2/4)

Sapporo Section 2021-2022 年

役員および監事・理事

Officers

Chair: 長谷山 美紀 (北海道大学: 教授)

Vice Chair: 五十嵐 一 (北海道大学: 教授)

Secretary/Treasurer: 小川 貴弘 (北海道大学: 准教授)

Auditor: 浅井 哲也 (北海道大学: 教授)

Auditor: 元木 邦俊 (北海学園大学: 教授)

Standing Committee Chairs

Fellow Nomination: 宮永 喜一 (千歳科学技術大学: 教授)

Membership Development: 齊藤 晋聖 (北海道大学: 教授)

Student Activities: 筒井 弘 (北海道大学: 准教授) ※北大 SB Counselor 兼任

Award / Publications: 真田 博文 (北海道科学大学: 教授)

Nominating: 柏 達也 (北見工業大学: 教授)

Technical Program: 藤野 雄一 (はこだて未来大学: 教授)

Other Executive Committee Members:

伊藤 精彦 (北海道大学: 名誉教授) ※LMAG Chair 兼任

鈴木 幸司 (室蘭工業大学: シニアプロフェッサー)

荒木 健治 (北海道大学: 教授)

吉本 直人 (千歳科学技術大学: 教授)

大鐘 武雄 (北海道大学: 教授) ※前 Sapporo Section Chair

李 鶴 (室蘭工業大学: 教授) ※YP Chair 兼任

角 薫 (はこだて未来大学: 教授) ※WIE Chair 兼任

2022 Student Representative:

望月 桂太 (北海道大学 修士 1 年、北大 SB 2022 Chair)

Affinity Groups/ Student Branches/ Others

IEEE Sapporo Section Life Member Affinity Group (LMAG)

Chair: 伊藤 精彦(北海道大学: 名誉教授) ※ 1

Vice Chair: 小柴 正則(北海道大学: 名誉教授)

Secretary: 小川 恭孝(北海道大学: 名誉教授)

IEEE Sapporo Section Women in Engineering (WIE) Affinity Group

Chair: 角 薫 (はこだて未来大学: 教授) ※ 1

Treasurer/Secretary: 寺井あすか (はこだて未来大学: 教授)

IEEE Sapporo Section Young Professionals (YP) Affinity Group

Chair: 李 鶴 (室蘭工業大学: 助教) ※ 1

Vice Chair: 佐藤 孝憲 (北海道大学: 准教授)

IEEE Hokkaido University Student Branch

Chair: 望月 桂太 (北海道大学 修士 1 年) ※ 1

Counselor: 筒井 弘(北海道大学 准教授) ※ 1

IEEE Muroran Institute of Technology Student Branch

Chair: Jiong Dong (室蘭工業大学 博士 2 年)

Counselor: 董 冕雄 (室蘭工業大学 教授) ※ 2

Japan Council History Committee (JCHC) Member from Sapporo Section

藤野 雄一 (はこだて未来大学: 教授) ※ 1

Educational Activity (EA) Member from Sapporo Section

大鐘 武雄 (北海道大学: 教授) ※ 1

※ 1 理事会メンバー

※ 2 理事会オブザーバー

The Institute of Electrical & Electronics Engineers, Inc.

Sapporo Section Bylaws

Nothing in these Bylaws is to be construed as to be contrary to the IEEE Bylaws, Constitution and Policy and Procedure.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Sapporo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Sapporo Section.
2. The territory of the IEEE Sapporo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be Hokkaido (Postal codes 001 through 009, and 040 through 099), Japan.

Article II - Officers and Auditors

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined. Two Auditors shall be elected by the Sapporo Section membership.
2. The terms of office of the elected officers and auditors shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on January 1, but in any case the outgoing Officers and Auditors will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years except when the extension and written reasons therefore have been approved by Regional Director and the Regional Activities Board.
6. The duties of the Section Officers shall be as described in the IEEE Bylaws and in the IEEE Section Operations Guide.

Article III - Standing Committee

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
Fellow Nominating Committee

Membership Development Committee
Nominating Committee
Technical Program Committee
Publications Committee
Student Activities Committee

2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the Section Chair's end-of-term date.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will expire on the Section Chair's end-of-term date.
4. Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

Article IV - Management

1. The management of the Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the Section Officers, Past Section Chair, Chairs of the Standing Committees, such other members appointed by the Section Executive Committee, and such other members appointed by the Section Chair; however, the number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19).
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least twice a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year for the Section shall be the calendar year.

Article V - Nomination and Election of Officers and Auditors

1. The Nominating Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.

3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

4. The timetable for this procedure is as follows:

- Announce nominations by August 31
- Close nominations by petition by September 30
- Mail a ballot, if required by October 31
- Hold elections by November 30

5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

1. In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Sapporo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendments to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds (2/3) majority vote of the Section Executive Committee.
3. In the event of a conflict between these Bylaws and IEEE Bylaws, the IEEE Bylaws will prevail.

IEEE Sapporo Section Bylaws 概要

Sapporo Section の範囲(I-2): 北海道

Section Officers(支部役員)(II-1):

- Chair(支部長)
- Vice Chair(副支部長)
- Secretary/Treasurer(幹事・会計, 1人で兼務可)
- Auditor(監事, 2名)

- ・ 任期は、当該年の1月から2年間で、選挙による。
- ・ 1つの役職に連続で就任可能なのは最大3年(MGA Operations Manual では4年)
- ・ 1つの役職に就任可能なのは合計6年まで(MGA Operations Manual)

Standing Committees(常置委員会)

- ・ 札幌支部の Bylaws に明記されている常置委員会は下記の通り(III-1)
 - Fellow Nominating Committee(Fellow 候補者の推薦)
 - Membership Development Committee(入会案内書配布など, 会員増を図る)
 - Nominating Committee(3名以上で構成, 次期支部役員候補者の推薦)
 - Technical Program Committee(講演会の企画実施)
 - Publications Committee(情報周知, ホームページ開設・管理)
 - Student Activities Committee(学生への対応)
- ・ 各常置委員会の委員長(Chair, 任期は支部長と同じ)は支部長が任命し, Section Executive Committee(支部理事会)が承認(III-2)
- ・ 各常置委員会の委員長がそれぞれの委員を任命し, 支部理事会が承認(III-3)

Section Executive Committee(支部理事会)が支部のマネージを行う(IV-1)

- ・ 支部理事会の構成は下記の通り(IV-1)
 - 支部役員(支部長, 副支部長, 幹事・会計)
 - 前支部長
 - 常置委員会委員長
 - 支部理事会が指名した者
 - 支部長が指名した者
- ・ 支部理事は19名を越えてはならない(IV-1)
- ・ 定足数は過半数(IV-2)
- ・ 出席者の過半数により議決(IV-3)
- ・ 1年に最低2回開催(IV-4)

選挙規定

- ・ Nominating Committee は支部役員(支部長, 副支部長, 幹事・会計), 監事候補者の公告を行う(28日間)(V-2)
- ・ 追加候補者がなければ, 選挙を実施することなく, 総会で決定できる(V-3)
- ・ 総会には定足数の規定なし

公告	8月31日までに開始
候補者追加締め切り	9月30日まで
選挙の場合の投票用紙郵送	10月31日まで
選挙実施	11月30日まで

会計

- ・ 全ての支出は支部理事会で承認されなければならない(VII-1)

2021 年事業報告

1. 第 1 回理事会・総会 (1st Section Executive Committee Meeting)
 - 日時: 2021 年 2 月 15 日 (月) 16:30–18:00
 - 場所: WebEX によるリモート開催
2. 第 2 回理事会 (2nd Section Executive Committee Meeting)
 - 日時: 2021 年 12 月 1 日 (水) 16:30–18:00
 - 場所: Zoom によるオンライン開催
3. 共催事業
 - 令和 3 年度 電気・情報関係学会北海道支部連合大会
 - ✓ 日程: 2021 年 11 月 6, 7 日
 - ✓ 場所: Zoom によるオンライン開催
 - ✓ 大会参加数: 285 名(実行委員会、編集委員会、管理者、座長、座長補佐、発表者、聴講申込者、特別講演講師の合計から重複を除いた数)
 - ✓ 特別講演聴講者数: 77 名
 - ✓ 学生交流会: 23 名
4. 主催事業
 - IEEE 札幌支部若手研究者年間優秀論文賞の選定
 - ✓ IEEE 札幌支部の学生会員、若手研究者の研究意欲の向上、学生会員・正会員数の増加、支部活性化などを目的として、昨年 1 年間に発表された論文 (IEEE が発行する論文誌やジャーナルなどに掲載された学術論文、または IEEE 主催・共催の国際会議で発表され英文プロシーディングスなどに掲載された論文) の中から、優秀な論文を発表した若手研究者を顕彰.
 - IEEE 札幌支部 Student Paper Contest の開催
 - ✓ 令和 3 年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会において、優秀な発表を行った学生を表彰.
5. 会員数増強のための施策 (Student Member に対する奨励事業)
 - (1) 新入会 Student Member に対する学会活動支援: 16 名
 - (2) Student Member に対する学会発表支援 (国外で開催される IEEE 主催国際会議): 0 件
6. 講演会開催
5 件実施.
 - 学術講演会 (2021 年 9 月 3 日 (金)@オンライン開催)
IEEE Sapporo Section, IEEE Sapporo Section WIE, IEEE Sapporo Section Hokkaido University

SB, IEEE Sapporo Section Muroran Institute of Technology SB 共催

Title: Multimedia Signal Processing for Promoting DX —Case Study of Industry-Academia Regional Collaboration by Specialized Cluster Analysis—

Speaker: Prof. Ryosuke Harakawa, Nagaoka University of Technology

- 学術講演会 (2021 年 9 月 17 日 (金) @オンライン開催)

IEEE Sapporo Section, IEEE Sapporo Section WIE, IEEE Sapporo Section Hokkaido University SB, IEEE Sapporo Section Muroran Institute of Technology SB 共催

Title: Development of Cyber-Physical System (CPS) for Active Control of River Channels

Speaker: Prof. Shogo Muramatsu, Niigata University

- 学術講演会 (2021 年 11 月 25 日 (木) @オンライン開催)

IEEE Sapporo Section, IEEE Sapporo Section LMAG, IEEE Sapporo Section WIE, IEEE Sapporo Section Hokkaido University SB, IEEE Sapporo Section Muroran Institute of Technology SB 共催

Title: Research on spoken dialog systems for natural dialog

Speaker: Prof. Ryota Nishimura, Tokushima University

- 学術講演会 (2021 年 11 月 25 日 (木) @オンライン開催)

IEEE Sapporo Section, IEEE Sapporo Section LMAG, IEEE Sapporo Section WIE, IEEE Sapporo Section Hokkaido University SB, IEEE Sapporo Section Muroran Institute of Technology SB 共催

Title: Advanced AI research for infrastructure maintenance in DX era

Speaker: Prof. Keisuke Maeda, Hokkaido University

- 学術講演会 (2021 年 12 月 10 日 (金) @オンライン開催)

IEEE Sapporo Section, IEEE Sapporo Section LMAG, IEEE Sapporo Section WIE, IEEE Sapporo Section Hokkaido University SB, IEEE Sapporo Section Muroran Institute of Technology SB 共催

Title: Attractiveness Computing and Its Behind

Speaker: Prof. Toshihiko Yamasaki, The University of Tokyo

7. 国際会議 共催/協賛

- 「The 7th IEEE International Conference on Image Electronics and Visual Computing (IEVC 2021)」に協賛
日時：2021 年 9 月 8～11 日
場所：オンライン

8. LMAG 設立

- 2021 年 6 月 7 日付で、札幌支部の LMAG が設立
役員
Chair：伊藤 精彦（北海道大学 名誉教授）
Vice Chair：小柴 正則（北海道大学 名誉教授）

Secretary : 小川 恭孝 (北海道大学 名誉教授)

9. IEEE MAW2021 in Sapporo

- 日時: 2021 年 10 月 30 日 (土) 13:00-18:00
- 場所: (1) 北海道大学大学院情報科学研究院, (2)オンライン

10. IEEE 札幌支部 LMAG 設立記念イベント

- 日時: 2021 年 10 月 31 日 (日) 14:30-17:30
- 場所: (1) 北海道大学大学院情報科学研究院, (2)オンライン

11. その他

- R10 Meeting への参加 2021 年 3 月@リモート開催 (小川 Secretary 参加)
- 第 1 回 JC 理事会への参加 2021 年 4 月@リモート開催 (小川 Secretary 参加)
- 第 2 回 JC 理事会への参加 2021 年 7 月@リモート開催 (小川 Secretary 参加)
- 第 3 回 JC 理事会への参加 2021 年 12 月@リモート開催 (小川 Secretary 参加)
- 第 1 回 IPC 委員会への参加 2021 年 4 月@リモート開催 (大鐘 前 Chair 参加)
- 第 2 回 IPC 委員会への参加 2021 年 6 月@リモート開催 (小川 Secretary 参加)
- 第 3 回 IPC 委員会への参加 2021 年 11 月@リモート開催 (小川 Secretary 参加)
- SB 合同学生交流会 2021 年 11 月 6 日@リモート (北大 SB・室工大 SB・IEICE 室工大 SB の合同開催, 参加者には記念ハンカチ進呈)

IEEE Sapporo Section Annual Report 2021

February 5, 2022

PART A - SECTION SUMMARY

A.1 Executive Summary

- Section Executive Committee Member List
 - Chair: Miki Haseyama
 - Vice Chair: Hajime Igarashi
 - Secretary/Treasurer: Takahiro Ogawa
 - Auditors: Tetsuya Asai, Kunitoshi Motoki
 - Chair of Fellow Nomination Committee: Yoshikazu Miyanaga
 - Chair of Membership Development Committee: Kunimasa Saitoh
 - Chair of Student Activities Committee: Hiroshi Tsutsui
 - Chair of Publications Committee: Hirofumi Sanada
 - Chair of Nominating Committee: Tatsuya Kashiwa
 - Chair of Technical Program Committee: Yuichi Fujino
 - Chair of Award Committee: Hirofumi Sanada
 - Other Executive Committee Members: Kiyohiko Itoh, Kenji Araki, He Li, Takeo Ohgane, Kaoru Sumi, Yukinori Suzuki, Naoto Yoshimoto
 - Student Representative: Takuya Yasugi
- Major Events (National)
 - 10 technical meetings were delivered.
 - We co-sponsored a domestic conference named 2021 Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers which was held by online.
 - IEEE Metro Area Workshop (MAW) 2021 was held in Sapporo Section.
- Major Student and Affinity Group Activities
 - Hokkaido University and Muroran Institute of Technology Student Branches organized one special networking session in Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers to exchange their experiences in university life. This session was co-organized with IEICE Muroran Institute of Technology Student Branch.
 - Sapporo Section WIE organized nine technical meetings/lectures.
 - Sapporo Section YP organized eleven technical meetings/lectures and joined six engineer spotlights. Furthermore, two young professionals were award by YP.
 - Sapporo Section LMAG was newly established. Furthermore, Sapporo Section LMAG organized “IEEE Sapporo Section LMAG Establishment Ceremony”, “IEEE Sapporo Section LMAG General Meeting” and six technical meetings/lectures. Sapporo LMAG also attended online R10 LMAG meets of 2021.
- Awards
 - We organized the following two types of student awards.
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Contest
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Awards
 - 2021 Award ceremony was canceled due to COVID-19.

A.2 Financial Report

- Summary
 - Income: JPY 1,327,929
 - Rebate from IEEE HQ JPY 391,187
 - Region 10 Assessment JPY 425,471
 - Non-IEEE CB Account Interest JPY 23
 - Support from Japan Council JPY 511,248
 - Expense: JPY 1,289,235
 - Meetings & Social Events Expense JPY 531,248
 - Educational Activities Expense JPY 150,000
 - Student Activities Expense JPY 168,812
 - Other Program Expenses JPY 50,000
 - Travel Expense JPY 0

▪ Support to Sections/Chapters Expense	JPY 360,655
▪ Other Management & General Expenses	JPY 28,520
○ Cash on Hand at Beginning of Year:	JPY 2,560,488
○ Cash on Hand at End of Year:	JPY 2,599,182
• Any other financial activities (IEEE NextGen Banking)	
○ Income: USD 1,004.98	
▪ R10 Section Incentives	USD 1,000.00
▪ Interest	USD 4.98
○ Expense: USD 202.04	
▪ LMAG Banner	USD 202.04
○ Cash on Hand at Beginning of Year:	USD 1,500.00
○ Cash on Hand at End of Year:	USD 2,302.94

PART B - ORGANIZATIONAL ACTIVITIES

B.1 Membership Development Activities

- Total number of active members in the past 3 years.
 - End of 2019: 334
 - End of 2020: 314
 - End of 2021: 323
- Summary and evidence of work done to improve the value of membership, which leads to retention and growth of members
 - 10 technical meetings
 - Support to new student members

B.2 Chapter Activities

- Total number of Chapters in the Section
 - No chapters other than joint chapters.
- Number of Chapters formed in the current year
 - None.

B.3 Professional and Continuing Education Activities

Summary of continuing Educational activities including conferences, technical activities, training courses, and distinguished lecture programs with attachment table / information

The following 10 speakers were invited as educational/technical programs.

1. Schedule: Sep. 3, 2021, with Sapporo Section WIE, Hokkaido University and Muroran Institute of Technology Student Branches
 - Title: Multimedia Signal Processing for Promoting DX - Case Study of Industry-Academia Regional Collaboration by Specialized Cluster Analysis -
 - Lecturer: Prof. Ryosuke Harakawa, Nagaoka University of Technology, Japan
2. Schedule: Sep. 17, 2021, with Sapporo Section WIE, Hokkaido University and Muroran Institute of Technology Student Branches
 - Title: Development of Cyber-Physical System (CPS) for Active Control of River Channels
 - Speaker: Prof. Shogo Muramatsu, Niigata University, Japan
3. Schedule: Nov. 25, 2021, with Sapporo Section WIE, LMAG, Hokkaido University and Muroran Institute of Technology Student Branches
 - Title: Research on Spoken Dialog Systems for Natural Dialog
 - Speaker: Prof. Ryota Nishimura, Tokushima University, Japan
4. Schedule: Nov. 25, 2021, with Sapporo Section WIE, LMAG, Hokkaido University and Muroran Institute of Technology Student Branches
 - Title: Advanced AI Research for Infrastructure Maintenance in DX Era
 - Lecturer: Prof. Keisuke Maeda, Hokkaido University, Japan
5. Schedule: Dec. 10, 2021, with Sapporo Section WIE, LMAG, Hokkaido University and Muroran Institute of Technology Student Branches
 - Title: Attractiveness Computing and Its Behind
 - Lecturer: Prof. Toshihiko Yamasaki, The University of Tokyo, Japan

IEEE Metro Area Workshop (MAW) 2021 held in Sapporo Section (Oct. 30)

6. Schedule: 13:45-14:30
 - Title: Fostering "IT Top Guns" who can be expected to play an active role internationally through the International Collaborative Research Center for Big Data and Cyber Security at Hokkaido University
 - Lecturer: Prof. Masaharu Yoshioka, Hokkaido University, Japan
7. Schedule: 14:30-15:15

- Title: Data-Driven Infrastructure Management - Past Initiatives and Future Directions
 - Speaker: Dr. Yusho Ishikawa, Basis Consulting Inc., Japan
8. Schedule: 15:30-16:15
- Title: Introducing Data Science into Infrastructure Maintenance Management Practices
 - Speaker: Dr. Masaharu Konishi, Tokyo Metro Co., Ltd., Japan
9. Schedule: 16:15-17:00
- Title: Introduction of E-NEXCO's SMH Outline and Initiatives
 - Lecturer: Mr. Seiji Fujita, East Nippon Expressway Company Limited, Japan
10. Schedule: 17:00-17:45
- Title: Tire Research and Development Initiatives for Green Innovation
 - Lecturer: Dr. Hiroyuki Kishimoto, Sumitomo Rubber Industries, Ltd., Japan

Sapporo Section co-sponsored the following conference.

1. We co-sponsored a domestic conference named 2021 Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers which was held by online.

B.4 Students Activities

- Total number of Student Branches in the Section
 - Two student branches (Hokkaido University and Muroran Institute of Technology)
- Section level student activities (student congress, paper and other contests, awards etc)
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Contest
We awarded six excellent student presenters at Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers.
 - IEEE Sapporo Section Student Paper Awards
We awarded four excellent student authors whose papers were published in the IEEE Transactions, Journals, and/or Proceedings.
- Number of active Student Branches (Student Branches who have reported required number of meetings during the year)
 - Two student branches (Hokkaido University and Muroran Institute of Technology)
- Summary of Student Branch activities (Student Branch wise with attachment table/information)
 - In 2021, Student Branches in Hokkaido University and Muroran Institute of Technology organized one special networking session in Hokkaido-Section Joint Convention of Institutes of Electrical and Information Engineers to exchange their experiences in university life. This session was co-organized with IEICE Muroran Institute of Technology Student Branch.

B.5 Affinity Group Activities

- Young Professional (YP)
 - 8 technical meetings were held, and 6 engineer spotlights were joined.
 - Three IEEE Sapporo Section LMAG Commemorative Lectures were jointly held with Sapporo Section LMAG.
 - 2021 IEEE Sapporo Young Professionals Awards
Two young professionals were respectively awarded “IEEE Sapporo Young Professionals Best Researcher Award” and “IEEE Sapporo Young Professionals Best Paper Award”.
- Women In Engineering (WIE)
 - One technical meeting was held, and five technical meetings were jointly held with Sapporo Section.
 - Three IEEE Sapporo Section LMAG Commemorative Lectures were jointly held with Sapporo Section LMAG.
- Life Member
 - Formation of the IEEE Sapporo Section Life Member Affinity Group (LMAG) was approved on Jun. 7, and established on Oct. 31.
 - “IEEE Sapporo Section LMAG Establishment Ceremony”, “IEEE Sapporo Section LMAG General Meeting” and “three IEEE Sapporo Section LMAG Commemorative Lectures” were held on Oct. 31.

- Three technical meetings were jointly held with Sapporo Section.
- Attendance of online R10 LMAG meets of 2021 on Sept. 18 and Nov. 20

B.6 Awards & Recognition Activities

- Award constituted by the Section
 - 2021 IEEE Sapporo Young Professionals Awards
Two young professionals were respectively awarded “IEEE Sapporo Young Professionals Best Researcher Award” and “IEEE Sapporo Young Professionals Best Paper Award”.
 - Senior Promotion Medals
Two members who were promoted to senior members received medals commemorating their promotion.
- Please list all Awards and Recognitions received by the Section, and members in the Section, from R 10 and IEEE HQ during the year
 - Mr. Jiong Dong, Vice Chair of Student Branch in Muroran Institute of Technology, was selected as a winner of the IEEE Region 10 Young Professionals REVOL 2021.

B.7 Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- Home Page of the Section (give the URL and how often it is updated)
 - Section’s web page:
<https://www.ieee-jp.org/section/sapporo/>
 - Sapporo Section WIE:
<https://scrapbox.io/WIE-Sapporo/home>
 - Sapporo Section YP:
<https://r10.ieee.org/sapporo-yp/>
 - Student Branch at Hokkaido University
<https://csw.ist.hokudai.ac.jp/ieee/>
 - Student Branch at Muroran Institute of Technology
http://www3.muroran-it.ac.jp/enes/student_branch/
- Other means of contacts with Section members including social media
 - eNotice

B.8 Industry Relations

- Activities for/with industrial members
 - IEEE Metro Area Workshop (MAW) 2021 was held in Sapporo Section (Oct. 30).

B.9 Humanitarian Technology Activities

None.

B.10 Community Activities

None.

PART C - OTHERS

C.1 Special Events

- Please briefly describe the importance of special events and the outcomes achieved
 - Formation of the IEEE Sapporo Section Life Member Affinity Group (LMAG) was approved on Jun. 7, and established on Oct. 31.
Officers
Chair: Kiyohiko Itoh, Professor Emeritus, Hokkaido University
Vice Chair: Masanori Koshiba, Professor Emeritus, Hokkaido University
Secretary: Yasutaka Ogawa, Professor Emeritus, Hokkaido University

C.2 Relationship with National and International Societies and Non-Government Organizations (NGO)

None.

C.3 Collaboration with other IEEE Sections

None.

C.4 Support extended to Sub-sections & Society Chapters within the Section

None.

C.5 Best Practices of your Section (which you would like to share with other Sections for the benefits of members)

None.

C.6 Problems anticipated and suggestions for solutions, if any

None.

PART D - GOALS AND PLANS

D.1 Continuation of project/activity in progress and their implementation plans

We are planning to organize technical lectures, symposiums, workshops on topics of interests. In some cases, these might be in collaborations with other institutes.

D.2 Goals and Future Plans

- Increasing the membership
- Enhancing the student activities
- Nominations of members for Senior Member and Fellow of the Institute
- Providing better services to the members
- Exploring the possibility of new student branches

D.3 Any innovative ideas to make IEEE more creative and value added for sustaining the membership retention and recruitment goals.

We do not have any actual ideas. We would like to discuss this issue in the section.

D.4 Business Plan for Sustainable Growth and Financial Stability.

We do not have any actual plan yet. We would like to discuss this issue in the section.

IEEE Sapporo Section 2021 年 決算報告

収入

項目	予算額(Yen)	執行額(Yen)	備考
前年繰越金	2,560,488	2,560,488	
3.10) IEEE 本部から Section Rebate	397,971	362,966	手数料除く
3.16) IEEE 本部から Section Assessment	420,277	425,471	手数料除く
3.10) IEEE 本部から Student Branch Rebate	0	28,221	手数料除く
3.70) MAW 札幌 開催経費 (JC から)	800,000	372,532	
3.70) Section 支援費(LMAG 設立)(JC から)	150,000	118,716	
3.70) Section 支援費 (YP 表彰) (JC から)	20,000	20,000	
3.45) 利息	22	23	
収入合計	4,348,758	3,888,417	

支出

項目	予算額(Yen)	執行額(Yen)	備考
4.10) Meetings & Social Events	25,000	0	
4.10) Meetings & Social Events	800,000	372,532	MAW 札幌関連
4.10) Meetings & Social Events	300,000	118,716	LMAG 設立イベント
4.10) Meetings & Social Events	40,000	40,000	YP 表彰
4.60) Educational Activities(講演会費)	200,000	150,000	※
4.80) Student Activities	250,000	168,812	
4.85) Grants & Awards	0	0	学生表彰は 4.80 に参入
4.90) Other Program Expenses(連合大会)	50,000	50,000	
5.20) Travel (Section 理事会)	50,000	0	
5.20) Travel (JC 理事会)	0	0	
5.50) Japan Council 運営資金	356,240	360,655	SA の 85%
5.60) WIE Home Page 維持費	20,000	20,000	
5.60) 諸雑費(銀行手数料等)	10,000	8,520	※
5.60) 事務委託費	10,000	0	例年 0 円
5.60) 予備費	30,000	0	例年 0 円
次年度繰越金	2,207,518	2,599,182	2021.12.31 通帳残高
支出合計	4,348,758	3,888,417	

※ 12 月の第 2 回理事会からの変更箇所

預金残高 : 2,599,182 円 (2021 年 12 月末)

以下余白

IEEE NextGen Banking

収入

項目	予算額(USD)	執行額(USD)	備考
前年繰越金	1,500.00	1,500.00	
3.20) Section Activity Report Incentive	0	1,000.00	
3.45) 利息	3.46	4.98	
収入合計	0	2,504.98	

支出

項目	予算額(USD)	執行額(USD)	備考
5.60 その他の管理および一般経費	0	202.04	札幌支部 LMAG バナー
次年度繰越金	0	2,302.94	2021.12.31 残額
支出合計	0	2,504.98	

Filters

Account Type: <all> Account: 118570-SAPPRO SECTION

Category: <all> Cash Pool: <all> Expense/Revenue Type: <all>

Payment Reference: Name Payer/Payee: End-to-end Reference:

More Filters

Special Functions

Value Date	Value Date Balances
1/1/2021	1,500.00
12/31/2021	2,302.04

	Account	Value Date	Amount	Ccy	Category	Expense/Revenue Type	Task	Transaction Code	Payment Reference	Customer Reference	Booking Key	Imported	Export Date	Export User
1	118570-SAPPRO SECTION	1/1/2021	0.39	USD	Interest Paid							✓	5/7/2021 12:00:51 AM	BGF Admin
2	118570-SAPPRO SECTION	2/1/2021	0.50	USD	Interest Paid							✓	5/7/2021 12:05:36 AM	BGF Admin
3	118570-SAPPRO SECTION	3/1/2021	0.43	USD	Interest Paid							✓	5/7/2021 12:08:35 AM	BGF Admin
4	118570-SAPPRO SECTION	4/1/2021	0.46	USD	Interest Paid							✓	5/7/2021 12:11:40 AM	BGF Admin
5	118570-SAPPRO SECTION	5/1/2021	0.43	USD	Interest Paid	P:Interest Income	G-9,40,000,000 IECC CB Account Interest					✓	5/25/2021 9:00:14 AM	BGA User-4 GL
6	118570-SAPPRO SECTION	6/1/2021	0.43	USD	Interest Paid				Interest Calculation: 5/1/2021 - 5/31/2021 @ .34 @ (5.25)			✓	1/19/2022 7:15:51 PM	563Z
7	118570-SAPPRO SECTION	7/1/2021	0.41	USD	-				Interest Calculation: 6/1/2021 - 6/30/2021 @ .34			✓	1/19/2022 7:18:12 PM	563Z
8	118570-SAPPRO SECTION	8/1/2021	0.41	USD	Interest Paid				Interest Calculation: 7/1/2021 - 7/31/2021 @ .33 @ (5.25)			✓	1/19/2022 7:19:49 PM	563Z
9	118570-SAPPRO SECTION	9/1/2021	0.40	USD	Interest Paid				Interest Calculation: 8/1/2021 - 8/31/2021 @ .32			✓	1/19/2022 7:21:40 PM	563Z
10	118570-SAPPRO SECTION	10/1/2021	0.39	USD	Interest Paid				Interest Calculation: 9/1/2021 - 9/30/2021 @ .32			✓	1/19/2022 7:23:29 PM	563Z
11	118570-SAPPRO SECTION	10/24/2021	-202.04	USD	CBTRA			CBTRA	LMAG Banner			✓	1/19/2022 7:23:29 PM	563Z
12	118570-SAPPRO SECTION	11/1/2021	0.39	USD	Interest Paid				Interest Calculation: 10/1/2021 - 10/31/2021 @ .32			✓	12/17/2021 6:25:20 PM	563Z
13	118570-SAPPRO SECTION	12/1/2021	0.34	USD	Interest Paid				Interest Calculation: 11/1/2021 - 11/30/2021 @ .32			✓	1/19/2022 7:27:36 PM	563Z
14	118570-SAPPRO SECTION	12/23/2021	1,000.00	USD	-				Result Announcement: 2021 R10 Section Incentives			✓	1/19/2022 7:27:36 PM	563Z

Number of Records: 14

会計監査報告書

2021 IEEE Sapporo Section Chair 長谷山 美紀 殿

2021年1月1日～2021年12月31日の会計の収支決算書及び諸帳簿を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを確認いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

2022年 / 月 2 / 日

監事 元木 邦俊

印またはサイン

以下余白

会計監査報告書

2021 IEEE Sapporo Section Chair 長谷山 美紀 殿

2021年1月1日～2021年12月31日の会計の収支決算書及び諸帳簿を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを確認いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

2021年1月31日

監事

浅井 哲也



印またはサイン

以下余白

2022 年事業計画(案)

1. 第 1 回 理事会 (1st Section Executive Committee Meeting)
2022 年 3 月 3 日(木)
2. 総会 (Annual Meeting)
2022 年 3 月 3 日(木)
3. 第 2 回 理事会 (2nd Section Executive Committee Meeting)
令和 4 年度 電気・情報関係学会北海道支部連合大会に合わせて、または、その前後にオンラインで開催
4. 共催事業
 - (1) 令和 4 年度 電気・情報関係学会北海道支部連合大会
2022 年 11 月 5-6 日、北海学園大学 (予定)
5. 主催事業
 - (1) IEEE 札幌支部若手研究者年間優秀論文賞
 - (2) IEEE 札幌支部 Student Paper Contest
電気・情報関係学会北海道支部連合大会に合わせて実施
 - ▶ 電気・情報関係学会北海道支部連合大会における「若手優秀論文発表賞の受賞者」と「電気学会で選定した受賞者」を除く学生を対象に Best Presentation Award、Encouraging Prize を選定
6. 会員数増強のための施策
 - (1) 新入会学生学会活動支援事業
 - (2) 学生講演発表支援事業
 - ▶ 予算の執行状況をみて、必要ならば補助の減額、停止を行う。
7. 各種講演会開催(主催、共催、協賛)、国際会議協賛
 - ▶ 謝金のみを支出する場合は、最大 3 万円とし、他学会と共催の場合は均等割を原則とする(例：電子情報通信学会と共催の場合は 1 万 5 千円の支出)。
 - ▶ WIE 講演会は年 2 回の開催が IEEE から要求されている。Sapporo Section 講演会同様謝金最大 3 万円を支給してもよい(2018 年第 1 回理事会にて確認)。
 - ▶ IEEE Sapporo Section 主催の旅費支給可能な講演会として、最大 3 回を想定する。1 回あたり最大 10 万円までの支出とし、この中から謝金(最大 3 万円)、旅費(実費)、宿泊費(実費)、日当を支給するものとする。なお、WIE 主催の講演会を含めてもよい。
 - ▶ 国際会議に協賛する場合、協賛金は最大 2 万円とする。
 - ▶ 講演会場の会場費は、理事会の審議により承認された場合は支出可とする。

8. その他

- (1) SB 活動支援
- (2) R10 Meeting 参加
- (3) JC 理事会参加
- (4) YP 表彰制度
- (5) シニア昇格記念メダル授与

2022 年予算案

収入

項目	予算額(Yen)	備考
前年繰越金	2,599,182	2021 の繰越
3.10) IEEE 本部から Section Rebate	362,966	手数料除く
3.16) IEEE 本部から Section Assessment	425,471	手数料除く
3.10) IEEE 本部から Student Branch Rebate	28,221	手数料除く
収入合計	3,415,840	

支出

項目	予算額(Yen)	備考
4.10) Meetings & Social Events	25,000	
4.60) Educational Activities(講演会費)	200,000	
4.80) Student Activities	250,000	
4.85) Grants & Awards	20,000	YP 表彰, 学生表彰は 4.80 に参入
4.90) Other Program Expenses(連合大会)	50,000	
5.20) Travel (Section 理事会)	50,000	
5.20) Travel (JC 理事会)	0	
5.50) Japan Council 運営資金	360,655	SA の 85%
5.60) WIE Home Page 維持費	20,000	
5.60) 諸雑費(銀行手数料等)	10,000	
5.60) 事務委託費	10,000	例年 0 円
5.60) 予備費	30,000	例年 0 円
次年度繰越金	2,390,185	
支出合計	3,415,840	

※ 項目中の数字は IEEE Financial Report のインデックス

IEEE NextGen Banking

収入

項目	予算額(USD)	備考
前年繰越金	2,302.94	2021 の繰越
3.20) Section Activity Report Insetive	1,000.00	
3.45) 利息	4.98	
収入合計	3,307.92	

支出

項目	予算額(USD)	備考
次年度繰越金	3,307.92	
支出合計	3,307.92	

項目中の数字は IEEE Financial Report のインデックス

Student Member に対する奨励事業について

2022 年 4 月 1 日

IEEE Sapporo Section 会員各位,

IEEE Sapporo Section
Chair Miki Haseyama
長谷山 美紀

平素は IEEE の学会活動に多大なご協力を頂きまして誠に有難う御座います。さて、IEEE Sapporo Section では 2022 年の企画として、Student Member の増員ならびに IEEE における学会活動を促進するための奨励事業として、下記の支援を行うことと致しました。

- A. Student Member に対する学会発表支援
- B. 新入会 Student Member に対する学会活動支援

Student Member の増強、Student Member の国際会議での発表促進、及び Sapporo Section の活発な活動を推進するためにご活用頂きますよう、宜しくお願い致します。

それぞれの支援事業の条件と内容については、下記をご参照下さい。

A. Student Member に対する学会発表支援について

1. 支援の条件と内容

(1) IEEE が主催する国際会議において、筆頭著者として発表を行う場合、参加費用の一部を補助する(2022 年 4 月 1 日以降に国外で開催される国際会議に対して補助を行うものとする)。

補助の上限額は、オンサイト開催は 1 万円、オンライン開催は 2,500 円とする。

(2022 年 1 月 1 日から同年 3 月 31 日までに開催された国際会議については、下記問い合わせ先に別途、お問い合わせ下さい。)

(2) 同一年内に、同一の Student Member が受けられる発表補助は 1 回とする。

(3) 予算の都合上、補助を減額もしくは停止する場合がある。

2. 申請の方法と補助金の受け取り

(1) 発表者は、自身が発表者であることを証明できるもの（採録通知の写しやプログラム（URL でも可）など）を添えて、会議の情報（会議名、開催日、開催地（オンラインの場合はその場所・オンラインの場合はその旨を記載））、発表者の情報（氏名、所属校、学年、連絡先メールアドレス）、および指導教員の情報（氏名、連絡先メールアドレス）を下記問い合わせ先に電子メールにより送付すること。

(2) 補助が決定した場合、指導教員より発表終了をお知らせ頂く。

(3) 報告に従い指導教員経由で補助金を支給する。

B. 新入会 Student Member に対する学会活動支援について

1. 支援の条件と内容

(1) 2022 年 4 月 1 日時点で未入会の道内大学大学院・学部生もしくは道内高専専攻科学生であること。同一学生が補助を受けることのできる回数は 1 回のみとする。

(2022 年 1 月 1 日から同年 3 月 31 日までに入会した場合には、下記問い合わせ先に別途、お問い合わせ下さい)

(2) 入会時の IEEE Membership Due (Student) 相当額を補助する(*注 1)。

(3) 予算の都合上、補助を減額もしくは停止する場合がある。

2. 申請の方法

IEEE のホームページ <https://www.ieee.org/membership/join/index.html> から入会手続きを Web 上で行って下さい。手続き完了後、レシート画面を保存して、日本円で支払った金額の分かるもの(クレジットカード Web 明細の該当箇所など)と合わせて、下記問い合わせ先にメール添付にて送付して下さい(*注 2)。

尚、IEEE の入会費用が半額となるプロモーションコード「FUTURE50」をオンラインチェックアウト時に入力頂くようにお願いします。

*注 1: 入会時期により IEEE Membership Due および Membership 有効期限が異なります。

<https://www.ieee.org/membership/join/dues.html>

15 August 2022 までの入会:

- IEEE Membership Due (Student Half Year) (*注 3): USD 13.50
- Membership 有効期限: 31 December 2022

16 August 2022 以降の入会:

- IEEE Membership Due (Student Full Year) (*注 3): USD 27.00
- Membership 有効期限: 31 December 2023

*注 2:円建て以外で支払った場合は、幹事が当日のレートで円に換算した額となります。

*注 3:上記の通り、プロモーションコード「FUTURE50」を入力することで、入会費用は記載の半額となります。

3. 他

IEEE Sapporo Section には女性技術者・研究者を支援する Women in Engineering (WIE) Affinity Group が存在します。学生は WIE の会費が無料ですので、是非 IEEE への入会と同時に WIE への入会をご検討頂けますと幸いです(性別に関係なく入会可能です)。

問い合わせ先

札幌市北区北 14 条西 9 丁目 北海道大学 大学院情報科学研究院

小川 貴弘

電話: 011-706-6078

E-Mail: ogawa@lmd.ist.hokudai.ac.jp

2021年第3回 Japan Council 理事会議題

2021年12月17日

於 住友電気工業株式会社 東京本社 3F ホール

1. 前回理事会議事録の確認（審議）	資料（1）	p. 1
2. 2021年 Japan Council 活動報告	資料（2）	p.15
3. 2021年 Japan Council 決算予想	資料（3）	p.18
4. 常設委員会 2021年活動報告、2022年活動計画案および予算案		
4-1 Chapter Operations Committee	資料（4-1）	p.20
4-2 Student Activities Committee	資料（4-2）	p.30
4-3 Awards Committee	資料（4-3）	p.86
4-4 Industry Promotion Committee	資料（4-4）	p.92
5. Ad-Hoc 委員会 2021年活動報告、2022年活動計画案および予算案		
5-1 Long Range Strategy Committee	資料（5-1）	p.96
5-2 History Committee	資料（5-2）	p109
6. Coordinator 2021年活動報告、2022年活動計画案および予算案		
6-1 Membership Development	資料（6-1）	p.115
6-2 Young Professionals	資料（6-2）	p.125
6-3 Life Members	資料（6-3）	当日配布予定
6-4 Educational Activities	資料（6-4）	p.160
6-5 Women in Engineering	資料（6-5）	p.168
7. 2021/2022 役員選挙スケジュールおよび Nominating Committee 選出（審議）	資料（7）	p.207
8. 各支部 2021年活動計画および前回理事会以降の活動報告		
8-1 札幌支部	資料（8-1）	p.218
8-2 仙台支部	資料（8-2）	p.225
8-3 信越支部	資料（8-3）	p.238
8-4 東京支部	資料（8-4）	p.248
8-5 名古屋支部	資料（8-5）	p.260
8-6 関西支部	資料（8-6）	p.272
8-7 四国支部	資料（8-7）	p.286
8-8 広島支部	資料（8-8）	p.293
8-9 福岡支部	資料（8-9）	p.302
9. 2022年 Japan Council 活動計画（審議）	資料（9）	p.306
10. 2022年 Japan Council 予算（審議）	資料（10）	p.308
11. その他		
11-1 MGA ARC 関連のトピックス	資料（11-1）	p.309
11-2 JC Awards and Recognition Committee の新設について	資料（11-2）	p.312
11-3 周年記念イベントに関する意見集約と今後の進め方	資料（11-3）	p.314
11-4 情報サーバの利用促進について	資料（11-4）	p.315
[参考] IEEE Japan Council メール審議記録	資料（11-5）	p.317
[参考] Region10 からのメール連絡一覧	資料（11-6）	p.319

IEEE 札幌支部 25 周年(2023 年)記念イベントについて

- 2021 年 12 月 1 日 第 2 回理事会における内容
- 周年に係る各支部の置かれている状況
 - 2015 年 旧東京支部 60 周年(実際は、2017 年に開催)
 - 2016 年 信越支部 10 周年(実際は、2017 年に開催)
 - 2018 年 広島支部 20 周年
 - 2023 年 札幌支部, 仙台支部, 東京支部, 名古屋支部
 関西支部, 四国支部, 広島支部, 福岡支部 25 周年
 - 2024 年 Japan Council 25 周年
 - 2025 年 旧東京支部 70 年
 - 2026 年 信越支部 20 周年(2021 年[本年]は 15 周年)
- IEEE JC からのメール (一部抜粋)

札幌支部からは現在、意見集約の時間も考慮し、「継続検討」として返答

(1) 25 周年記念イベント開催の要否/可否

- ・今回は開催を見合せたい。
- ・別の周年で開催したい。(ex. 広島支部殿には、2018 年に 20 周年記念イベントを開催)
- ・札幌支部殿として、単独で開催したい。
- ・他の支部と合同で開催したい。
- ・Japan Council と合同で開催したい。 等々

(2) 開催の場合の、希望開催時期(2023 年である必要はありません)

ご意見を、10月29日(金)までに頂けると幸いです。回答が難しく、継続検討されたい場合も、必ずご連絡下さい。尚、ご回答頂いた内容は確定ではなく、変更可能ですので、忌憚のないご意見を頂けると幸いです。

- 2021年12月17日の第3回JC理事会において報告予定の他の支部の方針を受けて、改めて2022年第1回理事会またはメール等で意見集約と審議を行うこととなった。
- 2021年12月17日の第3回JC理事会 「周年記念イベント(2023, 24年)に関する各支部の意見集約」
- JCより、資料 11-1の通り報告があり、今後として以下が示された。

上記を踏まえ、JCとしては、(札幌), 東京, 名古屋, 四国, 福岡, (信越)の6支部と合同で25周年を2024年に祝うのが好ましい。単独開催を希望の仙台, 関西, 広島の3支部については、その自主性に委ねる。但し、広島支部には20周年記念イベントを実施したので、JCからの予算支援はできない。

これを受け、各支部殿には必要に応じて再検討を頂き、2022年第1回JC理事会(3/18)にて、最終回答と単独開催の場合のタスクフォース立上げスケジュールをご報告下さい。JCでは、タスクフォース立上げより、次期幹事会社を中心に対応させていただきます。

● 2022年2月25日 JCからのメール

先日(2/21) 2022年第1回 LRSC(Long Range Strategy Committee)が開催され、その中で、周年記念イベントについても議論がなされました。

- ・これまでの Section 活動の歴史という観点からすると 2024年の JC 25周年を祝う意味は乏しい。
- ・それよりは、2025年の旧東京支部 70周年 ないし 2030年の同 75周年を祝うことの方が意味がある。
- ・IEEE のデフォルトが 25年周期であることから、75周年イベントを、全支部が参加して行うことが好ましい。
- ・各支部には積極的に 25周年記念イベントを開催して頂くのがよい。単独でもよいし、比較的規模の小さい支部は、複数支部合同で実施するのもよい。

従って、JCとしては、

- ・2024年の JC 25周年イベントは開催せず、2030年の旧東京支部 75周年を全支部とともに祝いたい。
- ・各支部には、単独、複数支部合同を問わず、25周年記念を実施頂けると有難い。

ということになりました。

上記を踏まえ、また第3回 JC 理事会(12/17)以降で、25周年記念イベントに関し、お考えの変更がありましたら、3/8(火)までにご連絡頂ければと存じます。

● 札幌支部の案

案1：他の5支部(東京, 名古屋, 四国, 福岡, 信越)と合同で25周年イベントを(2024年に)行う。

案2：道内の若手研究者によるオンライン講演会(招待講演)を札幌支部25周年記念イベントとして行う

- ・25年後の技術を見据えて道内の若手研究者に講演頂く
- ・多くの方に聴講頂けるようオンライン講演にする
- ・若手研究者育成のためすべて招待講演とする
- ・連続した講演でなくてもよい

周年記念イベント(2023, 24年)に関する各支部の意見集約

2021-12-17 JC Secretary 重松

1. はじめに

2023年 IEEE の信越支部を除く 8 支部が、創立 25 周年を迎える。記念イベントをどういう形で開催したいか否か、また その時期について 意見を整理したので、報告する。

2. 各支部と JC の周年

2015年 旧東京支部 60 周年(実際は、2017年に開催)

2016年 信越支部 10 周年(実際は、2017年に開催)

2018年 広島支部 20 周年

(現在)

2023年 札幌支部, 仙台支部, 東京支部, 名古屋支部
関西支部, 四国支部, 広島支部, 福岡支部 25 周年

2024年 Japan Council 25 周年

2025年 旧東京支部 70 周年

2026年 信越支部 20 周年(2021年[本年]は 15 周年)

2030年 旧東京支部 75 周年

尚、IEEE のデフォルトとしては、**25, 50, 75 周年**で記念イベント

3. 各支部の回答状況

表1 各支部の回答状況

支部	開催可否と形態	開催時期
札幌支部	検討の時間が欲しい	要検討
仙台支部	単独で開催	2023年(現任期今年一杯)
東京支部	(旧東京支部 70 周年と併せ、)JC と合同で開催	2024年
名古屋支部	他支部・JC と共同で開催	要検討
関西支部	単独で開催	2023年
四国支部	他支部・JC と共同で開催	要検討, 30 周年の可能性
広島支部	単独で開催 (2018年 20 周年)	2023年
福岡支部	他の支部と合同で開催	2023年頃(要相談)
信越支部	JC の 25 周年に併せて一緒に開催するのがよい	2024年

4. 今後

上記を踏まえ、JC としては、(札幌), 東京, 名古屋, 四国, 福岡, (信越)の 6 支部と合同で 25 周年を 2024 年に祝うのが好ましい。単独開催を希望の仙台, 関西, 広島の 3 支部については、その自主性に委ねる。但し、広島支部には 20 周年記念イベントを実施したので、JC からの予算支援はできない。

これを受け、各支部殿には必要に応じて再検討を頂き、2022 年第 1 回 JC 理事会(3/18)にて、最終回答と単独開催の場合のタスクフォース立上げスケジュールをご報告下さい。JC では、タスクフォース立上げより、次期幹事会社を中心に対応させていただきます。

5. おわりに

各支部の創立 25 周年に係る意見を整理し、JC としての考え方を示した。

以上

2021 IEEE Sapporo Section Student Paper Awards 受賞者

- Best Paper Award
 - Keita Morimoto, Akito Iguchi, and Yasuhide Tsuji, "Propagation operator based boundary condition for finite element analysis," IEEE Photonics Journal, Vol. 12, No. 4, #660713, Aug. 2020.

- Encouragement Award
 - Yuya Moroto, Keisuke Maeda, Takahiro Ogawa and Miki Haseyama, " Human-centric emotion estimation based on correlation maximization considering changes with time in visual attention and brain activity," IEEE Access, vol. 8, pp. 203358-203368, 2020.
 - Shingo Hiruma, Hajime Igarashi, "Model order reduction for linear time-Invariant system with symmetric positive-definite matrices: synthesis of cauer-equivalent circuit," IEEE Transactions on Magnetics, vol. 56, no. 3, March 2020.
 - Rintaro Yanagi, Ren Togo, Takahiro Ogawa and Miki Haseyama, "Enhancing cross-modal retrieval based on modality-specific and embedding spaces," IEEE Access, vol. 8, pp. 96777-96786, 2020.

受賞者には、賞状・副賞を授与済み

2020 IEEE Sapporo Section Student Paper Contest 受賞者

- Best Presentation Award
 - ◎叶 穎睿, 諸戸 祐哉, 前田 圭介, 小川 貴弘, 長谷山 美紀 (北海道大学), "Few-shot Learning を用いた感情ラベル推定における複数のデータセット利用に関する初期検討"
 - ◎尾関 剛成, 青木 直史, 土橋 宜典 (北海道大学), "CNN を用いた超音波信号のイベント検出に関する検討"

- Encouraging Prize
 - ◎今井 凌也, 岡本 淳, 富田 章久 (北海道大学), "ガウシアン拡散板を用いた超解像複素振幅計測の検討"
 - ◎田中 滉大, 高井 昌彰, 飯田 勝吉 (北海道大学), 高井 那美 (北海道情報大学), "深度カメラを用いた低遅延リライティングの Unity 実装"
 - ◎大竹 裕季, 青木 直史, 尾関 剛成, 土橋 宜典 (北海道大学), "DPP における音響イベント検出を用いた摩擦音同定に関する一検討"
 - ◎脇 修平, 大島 功三 (旭川工業高等専門学校), 村本 充 (苫小牧工業高等専門学校), "アンテナ配置を考慮した下水道管内部の電波伝搬特性に関する研究"

受賞者には、賞状・副賞を授与済み